

立川市第3次スポーツ推進計画（概要版）

第1章 計画の策定の基本的な考え方 P1～8

第1章は、策定の経過等、位置づけ、計画の期間、国及び都の動向およびスポーツを取り巻く社会状況の変化と課題を記載しています。「第3次スポーツ推進計画」では、「第5次長期総合計画」と整合を図り、国や東京都の動向にも留意しながら策定しています。

策定の背景

- スポーツ基本法 [平成 23 (2011) 年]
- 第3期スポーツ基本計画 [令和 4 (2022) 年～]

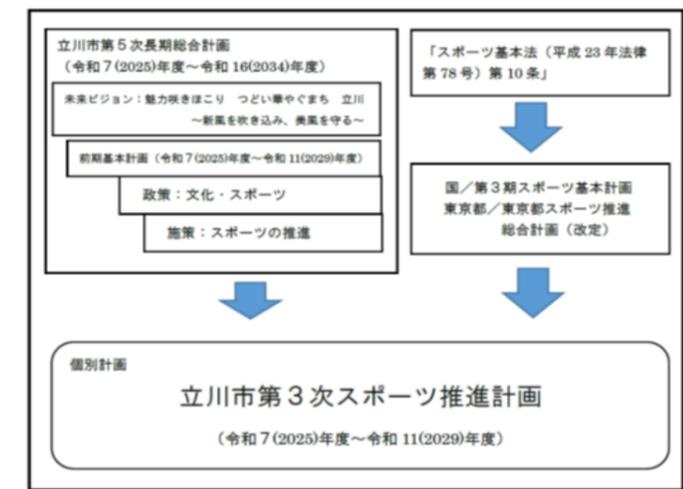
策定目的

スポーツ基本法第10条に基づき、国の定めるスポーツ基本計画を参酌し、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を策定する。

計画の期間



計画の位置づけ



計画を取り巻く状況

- 人口減少、少子高齢化の進展
- 各世代の体力の変化
- 地域コミュニティの変化
- 共生社会の広がり
- DXなど急速な技術革新
- スポーツによる健康増進、健康寿命の延伸
- 気候の変化

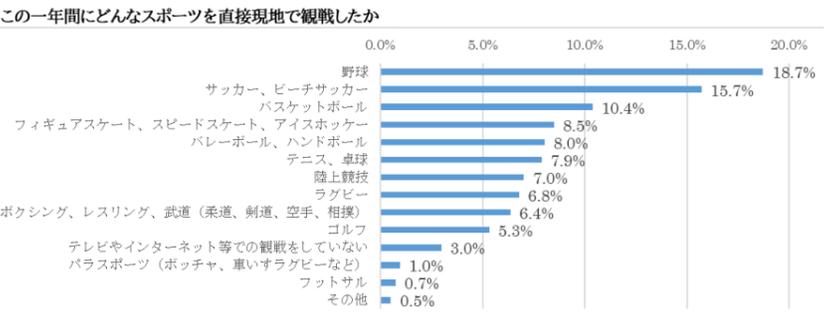
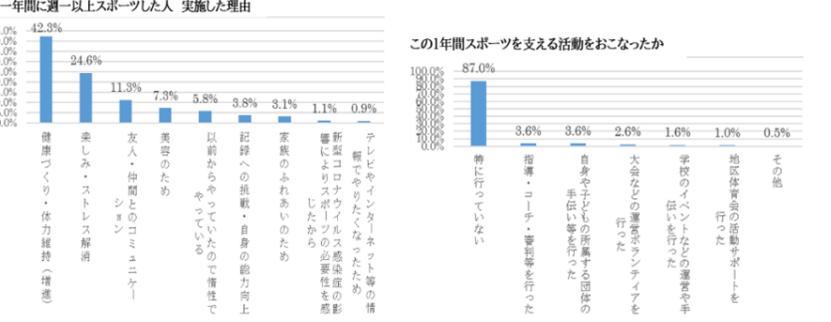
第2章 第2次スポーツ推進計画の成果と課題 P9～24

第2章は、第2次スポーツ推進計画に関する振り返りと市民アンケートの結果を踏まえた課題と方向性を示しています。

第2次スポーツ推進計画に関する振り返り

- 基本方針ごとに具体的振り返りを明示
- 基本方針1 市民のライフステージに応じたスポーツの推進
 - 基本方針2 交流と連携による地域スポーツの推進
 - 基本方針3 スポーツ環境の充実

市民の意識



課題と方向性

振り返りと市民の意識を踏まえた課題と方向性を示します。

第3章 計画の体系 P25～30

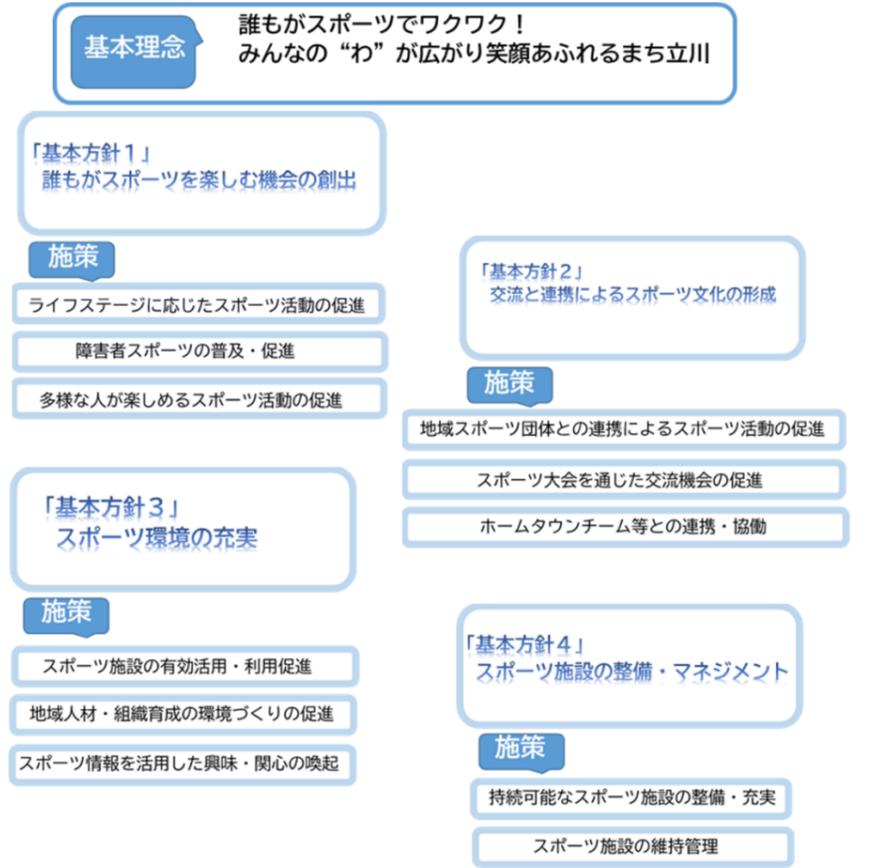
第3章は、基本理念、基本方針等、計画の体系を示しています。

基本理念

**誰もがスポーツでワクワク！
みんなの“わ”が広がり笑顔あふれるまち立川**

年齢、性別、障害の有無、体力、スポーツ経験などにかかわらず、誰でもスポーツを「する」「みる」「ささえる」を通じて“ワ”クワクワすることができて、スポーツを通じてみんながつながり（“輪”）、親しくなり（“和”）、話せる（“話”）ことで、お互いに“わ”らい（笑）あうことができるまちたちか“わ”を目指します。

計画の体系



基本方針1 誰もがスポーツを楽しむ機会の創出

◆数値目標◆

指標名	基準値	目標
週1回以上スポーツを行っている市民の割合（成人）	53.2%	60.0%
体を動かすのが好きな児童・生徒の割合	83.1%	90.0%

【基本的方向】

- ▶ 勝敗や記録を競うものだけでなく、余暇時間や仕事時間等問わず楽しみながら健康につながるスポーツ活動の普及・啓発を推進します。
- ▶ 年齢や性別、障害の有無に関わらず、誰もが楽しみながらスポーツに取り組めるようスポーツ協会やスポーツ推進委員等と連携してスポーツを楽しむ機会の創出に取り組みます。

【主な取組施策】

- ① ライフステージに応じたスポーツ活動の促進
- ② 障害者スポーツの普及・促進 ほか

基本方針4 スポーツ施設の整備・マネジメント

◆数値目標◆

指標名	基準値	目標
スポーツ施設の中長期的な維持管理・整備計画の策定施設数	（新規）	26施設
照明のLED化を実施した施設数	1施設	5施設

【基本的方向】

- ▶ スポーツ施設の今後のあり方や方向性を示した「体育施設のあり方」に基づき、安全で使いやすいスポーツ施設の整備に取り組みます。
- ▶ スポーツ施設の老朽化を見据え、施設の適正規模や配置、機能の集約化等の課題について多角的に検討するとともに、市民のスポーツニーズに応じたスポーツ施設環境の向上に取り組みます。

【主な取組施策】

- ① 持続可能なスポーツ施設の整備・充実
- ② スポーツ施設の維持管理

基本方針2 交流と連携によるスポーツ文化の形成

◆数値目標◆

指標名	基準値	目標
プロスポーツチームやスポーツ関係団体等との連携事業数	54事業	65事業
立川市をホームタウンとして活動するプロスポーツチームの認知度（児童・生徒）	29.2%	40.0%

【基本的方向】

- ▶ 市内の多岐にわたる関係団体との連携関係や、これまで築き上げてきた市が有するスポーツ資源を未来に引き継ぐためのしくみづくりに取り組みます。
- ▶ 立川をホームタウンとするプロスポーツチームとの連携や、立川シティハーフマラソン大会等を通じて、多様な交流機会を創出し、スポーツを通じたシビックプライドの醸成に取り組みます。

【主な取組施策】

- ① 地域スポーツ団体との連携によるスポーツ活動の促進
- ② ホームタウンチーム等との連携・協働 ほか

基本方針3 スポーツ環境の充実

◆数値目標◆

指標名	基準値	目標
市スポーツ施設利用者数（屋内／屋外）	811,603人	1,000,000人
指導者講習会等への参加者数	7人	15人

【基本的方向】

- ▶ 多様化するスポーツニーズをとらえ、より多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことができるスポーツ施設の有効活用・利用促進に取り組みます。
- ▶ 市内の各スポーツ団体や地域の多様な人材がスポーツを通じて地域に貢献し、活躍できる環境づくりに取り組みます。

【主な取組施策】

- ① スポーツ施設の有効活用・利用促進
- ② 地域人材・組織の育成と環境づくりの促進 ほか

第5章 計画の推進体制 P47～47

1. 計画の市民等への周知と協働による推進
2. 計画の進行管理
3. 教育委員会や庁内各課との連携・協力
4. 立川市スポーツ推進審議会への進捗報告・意見聴取